

はじめに

江別市は、江別・野幌・大麻のＪＲ函館本線の各駅周辺を中心としながら、国道 12 号を主要な骨格として市街地が形成され、良好な住環境の形成や商業業務施設の立地、特色ある工業団地の開発などにより発展してきました。

江別市の都市づくりにおいては、平成 16 年に策定した現行の「江別市都市計画マスタープラン」に基づき、「造る」から「使う」という視点に重点を移した都市づくりを進めて参りましたが、策定から約 10 年が経過し、その間、緩やかな増加と見込まれていた市内人口は既に減少へ転じ、急速な高齢化に加え、先行き不透明な景気などの社会経済情勢の変化や、地球環境問題、安全・安心の意識の高まり、地方分権の本格化など、都市を取り巻く環境が大きく変化してきました。

また、江別市の最上位計画である「えべつ未来づくりビジョン〈第 6 次江別市総合計画〉」が平成 26 年度からスタートするため、「えべつまちづくり未来構想」、「えべつ未来戦略」に対応した都市づくりを進める必要があります。

「江別市都市計画マスタープラン 2014【改訂版】」は、こうした社会経済の動向や政策的な取組に対応するために総合計画の策定に併せて見直しを行った計画であり、将来都市像を総合計画と同様の「みんなでつくる未来のまち えべつ」と定め、10 年間の計画期間だけではなく、その先の長期的な見通しをもった都市づくりの方針を示しています。

これからの都市づくりは、拡大成長期から都市空間や暮らしの質を高めていく成熟期へと移行していくことから、従来の都市計画に加え、市民生活や産業経済活動、景観づくり、歴史、文化、福祉、教育などの幅広い分野との横断的な連携が重要となるため、これまでの枠にとらわれることなく総合的な視点により、本計画を運用し、将来都市像の実現をめざしていきたいと考えております。

結びに、本計画の策定にあたりまして、各種アンケート調査や意見交換などを通じて貴重なご意見をいただきました市民の皆さまをはじめ、江別市都市計画審議会委員、江別市都市計画マスタープラン小委員会委員、並びに多くの関係者の皆さまに心から感謝とお礼を申し上げます。

平成 26（2014）年 3 月

江別市長



《 目 次 》

第1章 都市計画マスタープランの目的と役割

1. 目的	2
2. 計画の位置づけ	3
3. 役割	3
4. 目標年次	3

第2章 江別市の特徴と都市づくりの課題

1. 都市の現状	6
2. 都市計画の現況	8
3. 都市づくりの視点	15

第3章 将来都市像と都市づくりの目標

1. 将来都市像	18
2. 都市づくりの考え方	18
3. 都市づくりの目標	19
4. 将来都市構造	21

第4章 都市づくりの基本方針

1. 土地利用の方針	26
------------	----

市街地部

1-1. 拠点	26
1-2. 住宅地	27
1-3. 幹線道路沿道地	28
1-4. 工業地	28

市街地周辺部

1-5. 農業関連地	29
1-6. 野幌森林公園	30
2. 都市施設整備の方針	33
2-1. 道路・交通	33
2-2. 水と緑	41
2-3. 上下水道・供給処理施設	45
2-4. 公共・公益施設等	49

3. 都市環境の方針	49
3-1. 都市防災	49
3-2. 景観	50
3-3. 環境	52

第5章 地域別構想

1. 基本的な考え方	54
2. 地域区分	55
3. 地域別構想	56
3-1. 江別地域	56
3-2. 野幌地域	64
3-3. 大麻・文京台地域	72
3-4. 豊幌地域	78
3-5. 農村地域	82

第6章 計画の推進に向けて

1. 市民協働による推進	90
2. 関係機関等との連携	90
3. 計画的な推進	91
4. 都市計画制度の適切な活用	91
5. 都市計画マスタープランの見直し	91

資料編

1. 見直し経過	94
2. 用語解説	97

